

人口減少社会

リフォームでの競争は、手の内知った同業同士から、全くの異業種との競争、他流試合で腕を磨くチャンス到来ととらえねばならない。お施主さまは、新築とは全く別の財布からの予算だ。こちらからは、従来のような労働集約型の住環境から、脱却を可能にする住宅を提案しなければならない、それは一言で言うならば住環境の再生技術だ。多くのサービス産業が、住環境の改善にチームを組んで、横断的な解決手法を適用できる業態の実現を目指さなければならない。他業種とのコラボレーションにより、インテリアデザインからタウンマネージメントまで、防犯、防火までの安心して住むことができる街全体の改善を目指さねばならない。人口は1930年の完全ピラミット型から1950年には末口ピラミッド、1970年には形が崩れ、2010年には真ん中よりしたが膨らむ縄文土器型となる^{ri}、2035年には、縄文土器型から若年層とくに30歳以下が減ってくる人口減少社会が到来する。少子高齢化による人口減少社会のなかで、他業種との争いが激化する続く

第 5 9 回全国植樹祭－1

第 5 9 回全国植樹祭が、6月 1 5 日秋田県北秋田市の、北欧の社公園で、天皇皇后両陛下をお迎えし、厳粛なかで、全国から関係者 1 万 2 千人が集まり、盛大に行われた。前日、岩手宮城内陸地震が発生し、実行が危ぶまれたが、幸いにも震源地から、距離があることから影響はなかった。しかも、突然「雹」が降り出し、建物にあたる時の、もの凄い音で、都会地参加者の肝を冷やした、これもほんの一時的なものであった。

天皇皇后両陛下が着席されたお野立所は、高名な建築家安藤忠雄氏がデザインしましたもので、白鳥のあたまは古民家を配し、羽根を広げたまま、舞い降りたようなイメージだ。秋田県は、71%が森林である。ご先祖様から、受け継ぎ水と緑を絶やすことなく、未来への継承をするのが使命、緑は、森を作り、水を涵養し、酸素を吐き出し、二酸化炭素を吸収する機能をもって地球環境を保全し、人々の健康な生活を約束する。次に木は、寿命がきた。木は、伐採され街にでる。建築資材などあらゆる分野で街に出る。街で第二の森林を形成役割第二の木生が始まる。伐採したところに、直ぐに植樹し、好循環がはじまる。天皇皇后両陛下が御自らお手本され、1万 2 千人が植樹し地球環境保全に貢献した一日であった。続く



流れが変わる

少子高齢化、人口減少社会の到来でおおきく変わるのは、供給側のリフォームを含めた工務店だ。専門の工事業者が消える。かつての木造住宅黄金時代を支えた職種は後継者難で一代限りとなり、専門職の再編が起きてくる。材料供給業者から工務店各職種への流れが大きく変わる、材料と工事の流れも変わり工事業者がなくなり再編成が加速する。材料屋は何でも扱うコンビニに特化し、激しい競争の末寡占化さらに、行きつく先は家電大型販売店のような業態に特化する。木材の山田電気のような業体で寡占化がすすむだろう。工事のほうは、どうかといえば、コムスンのような口入屋に登録した業者が派遣されるようになるのではないか。“流通業者の再編もますます進み、IT化によって、ユーザーと流通業者は、アマゾンのようなこちら寡占化したネット業者の仲介により、消費者が選択することになる。”寡占化専門化IT化の流れの選択の仕組み作りがこれから仕事だ。

134号 白神山地

植樹祭の前日、北秋田空港に到着、地震発生の時刻だったが気がついたが、そのまま、白神山地まで、レンターカーで行くことにした。順番で、トヨタの小型車に乗車、一路白神山地を目指して突っ走った。国道7号線へ米代川を渡ると、ニッ井の街に入った。ここまで7号線沿いは、緑一面萌える緑が雨にぬれ、緑の霧がけぶっているようなさまは、なんともいえぬ素晴らしいだ。矢張り緑は国の宝、宝をなりわいとしている材木屋よ、もっと元気出せと、緑に、ハッパかけられたような気がした。ニッ井には、お世話になった大先輩の地元、綴り子をすぎて、右折れし、県道317をしばらく走ると、大ケヤキ、大銀杏等の看板が目につく、見たいがとにかく、白神へとわき目も振らず走った。環境省の白神山地世界遺産センターを過ぎ、しばらく進むと道は、2車線が1車線になり、やがてさらに細くなってきた。落石注意などの看板が出てきた。雨も激しく降り注いできた。ヤバイナこれは、都会者の臆病さ、急に怖くなって、慌ててユータンし、後戻りのお粗末な次第、ここまで来て残念だが、「君子危うきに近寄らず」などと大義名分をつくり自分を納得させた。帰り道、さきほど通過した峨瓈峡（がろう）へ立ち寄り、白神山地の空気をほんの少しだけ味わい、次に白神山地世界遺産センターで概略の知識を得た。今回の失敗は残念でならないが次回の楽しみにしたい。



特徴ある空間設計

現状の木造住宅は、在来木造は構造の骨組に木材を使用している。木造2X4工法でも細い軸に木材を使い、壁に合板パネルを張り巡らせていている。どちらも基本的には壁だらけ、壁で持たせている家だ。内部のインテリアは、建材メーカーのカタログを拾って作られている。在来木造も2X4も、木材は柱と梁+間柱と筋かい+断熱材・合板である。両者とも特徴のない壁だらけの家で味気ない。現在のような画一的で、特徴のない木造住宅では、解決できないものを解決するのは、一例として、間口を広く取ったラーメン構造の住宅は、アメリカの集合住宅のような木造の4階、5階建ての木造住宅だ。法の規制ですぐには実現できぬが、一つの方向性とすることができます。

写真 平成5年ブラジルから の 帰途 ロスアンゼルスの木造ビルの写真を掲載する

以上130号から135号まで記述内容は、新木場木祭時講演のご紹介である。少子高齢化社会を見据え、200年住宅に対する深い洞察、業態の再編、流通構造の変化新しい木造住宅など示唆に富んだ有益なお話を拝聴した。このなかで最後のひとこと何ごとも情報の共有が必要といわれたことが印象に残っている。有益な講演有難うございました。

135号

文京区大塚5丁目、6丁目の数十年御無沙汰しているお得意様を訪ねた。豊島ヶ岡という大変環境の良いところだ。山手線が大塚駅から南にある春日通りの更に南側丸ノ内線の新大塚駅、東は不忍通りは護国寺で分かれる。高速道路を上に見て、北上し池袋駅へ至る。都電の向原で豊島区と仕切られた都心とは思えない閑静な地域がある。大塚5、6丁目がそれだ。江戸時代には、小石川旗本町と言われたお屋敷町、護国寺の北側に隣接しているのは、豊島ヶ岡皇室墓地、吹上稻荷神社このお社は、吹き上げ御門前から移したもの、福田稻荷という地元のお稻荷様や、有名なお寺が軒を連ねており、このあたりの住民は、古くからお住まいの方が多いところだ。古い人はこのあたり一帯を豊島ヶ岡とし、町会名も豊島ヶ岡町会としている大変由緒あるところだ。お得意様に尋ねると、こんな住みよいところはないと言われた。皇室墓地があるほど厳肅なところところで、緑が多く健康によろしい、森の精気が満ち満ちているのがわかる、と言わされた。素晴らしい経験をさせていただいた。ここでも、木が如何に人間の生活に良い影響を与えていていることが判る。外人が来てこの辺の空気は香が違うと大変嬉しいことだ。お時間がおありの方は、豊島ヶ岡に行かれるとよろしいお勧めのスポットだ。

137号ボルドーパイン

ナポレオンの植えた松

日本でボルドーと言えば、ボルドーワインのイメージだ。ここでは、フランスランド地方の、松で、ご紹介する。ボルドーパインとは、正式には商業名であり、マリタインパイン（海洋松）が正式名称だ。ナポレオン三世が、地中海沿岸ランド地方の砂漠に植えたパインである。疫病対策、防風林、砂漠の緑化が始まりのだ。以来130年余にわたり、植林事業として継続、成功している素晴らしいプロジェクトだ。当初は国の施策、即ち国有林でスタートしたが、民に払い下げ、民有化した。いまでは、造林に關係のない防風林のみが、国有林として存在し、シェアは全体の5%しかない。民のできることは民に、わが国の民営化のお手本として、フランスでは100年以上前から、民営化しており長期的な戦略には脱帽する。なぜボルドー地方なのか、そしてなぜパインなのか？その理由は、ボルドー地方は砂漠であるが、松が砂地に対応しているのは、水分の吸収力が強いことだ。そう言えば、日本の海岸でも、白砂、緑松、青海が絶景に数えられているほど、松は砂地に強い植物だ。

植林と伐採

ここは、目の細かい良材が育つ最適環境だ。45年～50年で直径約40cm～60cm、10年ごとに枝うちをする。FSC（持続可能な森林認証）のフランス版PEFC（認証可能）の森林だ。ランド地方の植林地は、縦横無尽に走る道路沿いの伐採現場だ。バファロー伐採機で90秒で6～8本を伐採、玉切り、枝切り、品質仕訳、しかもコンピューターでインプットされたデータが工場に送られる。造材は全てワンサイズ2.5mに玉切りする。1, 2番玉はフローリングや羽目板用、3番玉は製材用、4番玉はパルプ用に仕訳する。

この機械の値段は40万ユーローのことだ。正に驚異的なスピードの造材である。人件費の高いしかも高齢者の多いヨーロッパでは、機械設備に投資し、人件費を極端に圧縮する。しかも、下請けに委託し請負出来高契約で、お互いに棲みわけ、ともに植林から伐採までの事業の共存共栄を目指している。
続く

写真 ツキ板物語 95-1 95-2

136号 東北の雄 仙台

仙台市は、人口100万人東北への玄関口としていたが、今や大きく発展しようとしている。村井嘉浩宮城県知事は、48歳の働き盛り、大阪の出身自衛隊入隊宮城県に勤務し、県議会議員となりその後県民の期待を受けて知事に当選2期目である。宮城秋田内陸地震の直後のためもあって、面会中も作業服であった。宮城県、特に仙台市は、支店経済の街、新製品テスト販売市場の拠点のみであった。地域産業としては、漁業基地、水産基地である。これといった、大メーカーは不在の地域だ。こんなことから支店経済の街、として貸しビル、短期滞在型のビジネスホテル、商社問屋など流通関連コミュニケーションの場として、第三次産業が接待産業として栄えている街だ。

しかし、メーカーが根付いてくれなければ、人口象も期待できず、発展性に乏しいとして、このたび、トヨタの誘致に成功、2次産業として、トヨタ関連ではセントラル自動車、半導体産業の一番手としている東京エレクトーンの裕一に成功した。これら工場群の進出により、宮城県は東北の雄として発展が期待される。



クラブ 和食料理店 など6店舗の経営者 単なるクラブのままでなく、異色の経営者として、当地で活躍、地域おこし、地域貢献、クラブママを集めての同業界の全性を看板

2. 菅原 48歳 ネズミ 23歳でこの商売

葬祭業

平成19年

全国 120万人 宮城 約 7000人 の25%しめる

平成35年

170万人 1万人

夢は大きく右肩上がり将来10万人を目指

規制解除

靈救車など大手参入 競争激化

地味葬 単価上昇 じみ婚とおなじ

3. 牛タン

仙台名物 きすけ

極厚

4. 鐘崎かまぼこ 吉田社長

魚と格闘する目になれ

100円で3億飛ぶ？

テレビコマーシャルで過当 競争

量販店 買いたたき 悪循環脱すべく

工場・売り場・ショールーム七夕映像カネカケ

観光バス呼び込み 発送運賃無料で データー収集 DMで売り込み

阿部かまぼこ と競争している

材料値上がり

なるようになれ 居直っている

弟と二人 20年前に分かれ 伊達の牛タンで 繁盛

兄弟で 切磋琢磨

5. 公共図書館

展事情

かし ホールガラスの建物

上階は揺れる

パイプとガラスの建築物

地震で表面割れあるも支障なし

異色のたてもの これで持つのか？

6. 歩行

藤崎デパート ルイビトン クマール 素晴らしい

そのた

奥行きあり

間口せまい

七夕用の設備

7. 村井県知事 [地図](#)

48歳 ネズミ年

大阪出身 自衛隊 千代昌チオン 県議会議員から 浅野史郎を破って当選2期目

張り切っている

企業人口の増加

税収確保し財政再建を目指す

・ **開発** トヨタ自動車4万店部品 協力工場メーカー セントラル自動車など移転してくる

土地 安い 2000万で80坪土地付き住宅が買える

企業 付加価値の高い産業の誘致と育成

流通業支てん経済からの脱皮 メーカーの誘致 I.T.

8. 懇談会

花はん 鈴木せつ子 経営の和食レストラン 内装和室用集成材ふるにしよう
仙台商工会議所

-1 庄司 中山の 知人 JR勤めから JR関係の流通開発業

-2 コーヒー 1000円 秘密 雰囲気 容器 サービス 味

-3 解体 古材販売する在庫

-4 女性部会長